

■ 浸水対策(案)について

		浸水対策 (案)	平時の対策	災害時の対策	課題・配慮事項等	既存建築物への適用の可否	
対策の目的・実施する箇所	浸水リスクを低減するための対策	電気設備等の配置	<ul style="list-style-type: none"> 電気設備等の浸水のおそれが少ない場所への配置 		<ul style="list-style-type: none"> 浸水対策の実施にあたっては、地震や火災等に対する総合的な安全性を考慮することが望ましい 上階設置が困難な電動ポンプ等はカバー等の水没防止を措置 	△	
		建築物への浸水を防ぐ対策 (水防ラインの設定等)	建築物の出入口等	<ul style="list-style-type: none"> 土嚢、止水板の配備 マウンドアップ 	<ul style="list-style-type: none"> 土嚢、止水板(手動式)の早期設置 	<ul style="list-style-type: none"> 止水板の設置方法、設置に必要な機材・人員・タイムラインの事前確認や訓練が重要 電動式の止水板は、日常的なメンテナンスが必要 止水板の浸水防止性能に基づく、排水ポンプの併設も要検討 	○(土嚢、止水板配備のみ)
			換気口等の開口部	<ul style="list-style-type: none"> 換気口等の開口部の高い位置への設置 からぼりの嵩上げ 			△
			雨水貯留槽等の排水設備	<ul style="list-style-type: none"> 排水設備からの逆流防止措置(配管における立上り部の設置) 雨水貯留槽からの浸水防止措置(満水となる前に雨水の流入防止) 	<ul style="list-style-type: none"> 貯留状況の確認 		△
		対策 浸水を想定した 電気設備等への	電気室の出入口等の開口部	<ul style="list-style-type: none"> 防水区画の形成(水密扉の設置、配管の貫通部や電線の引込み口の防水・止水処理) 	<ul style="list-style-type: none"> 水密扉の閉鎖状況の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 水密扉の浸水防止性能に基づく、排水ポンプの併設も要検討 電気系統の分離も要検討 	○
			※浸水を防げない場合	<ul style="list-style-type: none"> 電動ポンプ等に対するカバー等の水没防止措置 	<ul style="list-style-type: none"> 重要設備の嵩上げ 		△
			浸水量の低減	<ul style="list-style-type: none"> 雨水貯留槽の設置 	<ul style="list-style-type: none"> 貯留状況の確認 		△
		浸水した場合の早期復旧のための対策	<ul style="list-style-type: none"> 建築物の所有者と電気主任技術者は、関係機関(電力会社、工事会社等)との復旧に備えた検討(仮設キュービクルの手配・設置等)を行っておくこと 	<ul style="list-style-type: none"> 迅速な復旧の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 仮設キュービクル手配・設置の用途を立てておくなど復旧に向けた事前検討が重要 	○	